



～恥辱マゾ化調教に堕ちる正義のヒロイン～





ひっ…
や、やめてっ…
触らないで…

ふふ…♡もう
怖がらなくて
いいの♡



安心して♡私と契約を
交わせば…すぐに気持ち良
なれるから…♡

私のマゾ奴隷に
してあげる…♡

ほらあ…♡お口
開けてえ…♡

むわぁ…♡

あつ…
誰か…助け…

トラッ



きやつ

ガッ

そこまでよ!

その子から
離れなさい!

その君！
もう大丈夫よ！

淫魔は私が食い止めるから
早く逃げなさい！

あつ

だっ…

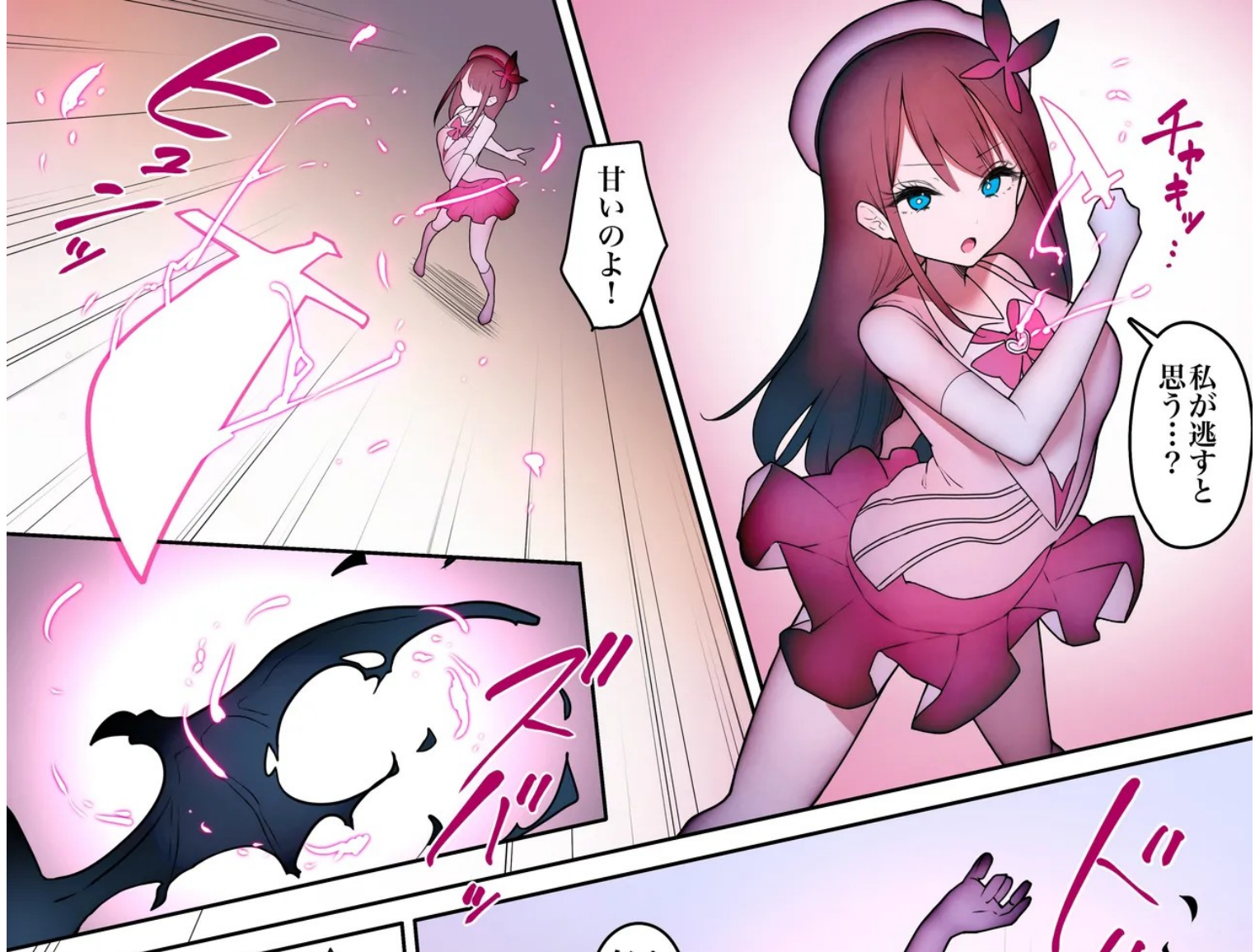
エリート魔法少女
アリザ

よりによって
あのアリザに
見つかるなんてっ…！

ひとまず
ここは…

退散するしか
なさそうね…

くっ…！



甘いのよ!

チャキッ...

私が逃すと思っ...?



...かわいいそうなきもするけど

人を襲った淫魔は見逃す訳にはいかないわ...

これでどうめ...

あんっ

よ...



痛てて...

わあ

この臭い...

あ...

もわあ...♡



あっ…
しま…

ウネ…



うっ…!

ま、まずいつ…
このままじゃ…

ふふ…♡コレは…
どういう事かしら…♡
まさか…
あのアリザが…



あ…

一瞬でも…
私に…

隙を見せて
しまうなんて…♡



淫魔との口付けは
契約を意味する…♡



浮かび上がった淫紋は
契約の証…♡

心も身体の自由も…♡
全部私に奪われて…♡

永遠に覆せない
主従関係が結ばれる…♡



ふふ♡君の身体は
もう私のもの…♡

私の奴隷に
なりなさい
…
♡



それじゃあ…♡
魔法少女の精子…♡

頂きま〜す♡

待あ…♡

あ〜♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡

びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡

びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡

びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡

びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡
びんご♡
ちゅ♡



淫魔の：快樂責め：♡
こゝんなに：♡
きもちいい：なんてっ♡

ああだめ♡だめよっ♡
この快樂に：飲まれちゃ：
こんな淫魔にっ：♡
風する：訳にはっ：♡

あら…♡まだ理性が
残ってたようね…♡



ぶっちゅううっ♡

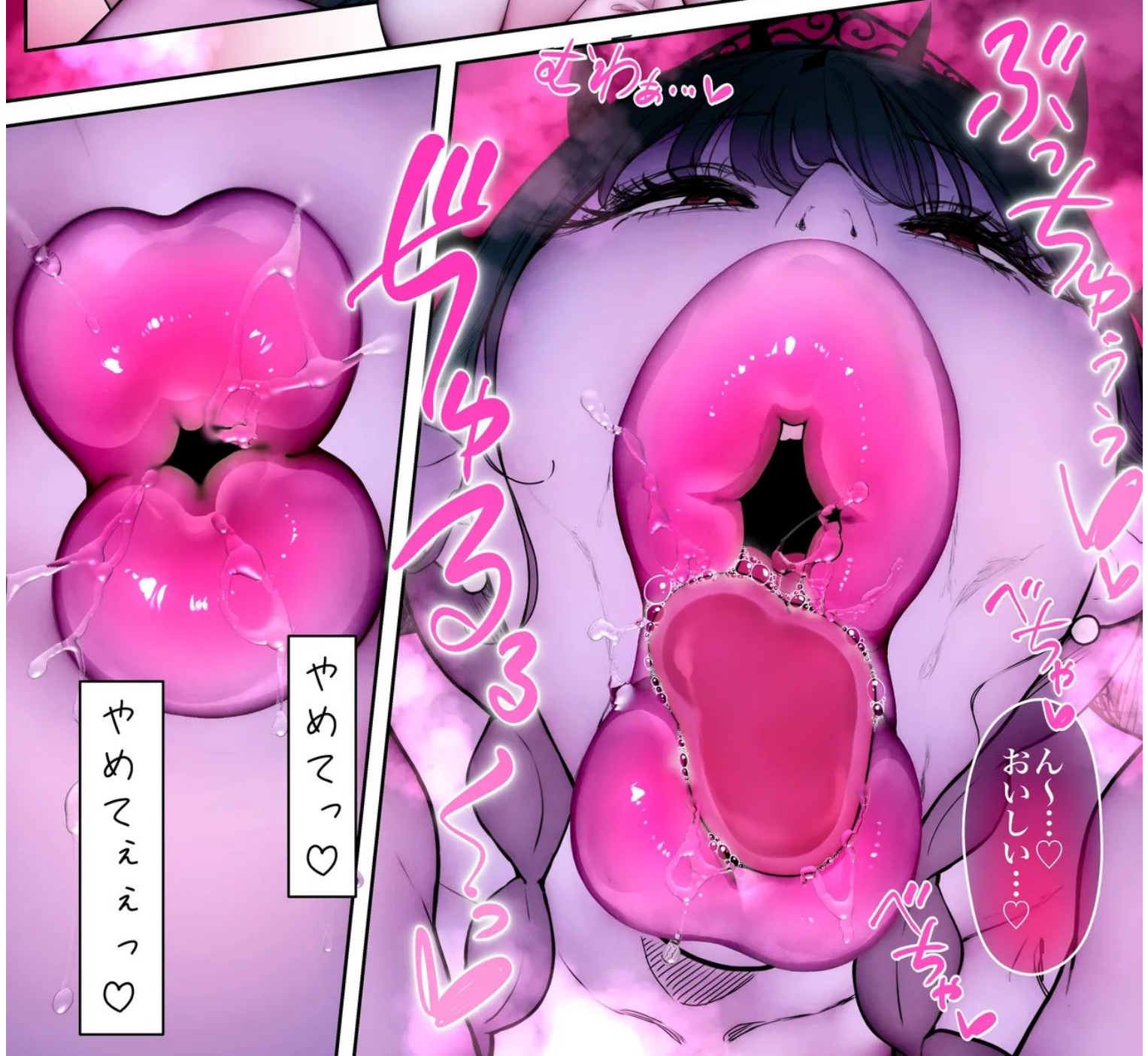
あゝあゝ…♡

ぢゅるるる♡

べっちゃん♡
おん…♡
おいしい…♡

やめてっ♡

やめてええっ♡





なかなか理性が
抜けないわね…♡

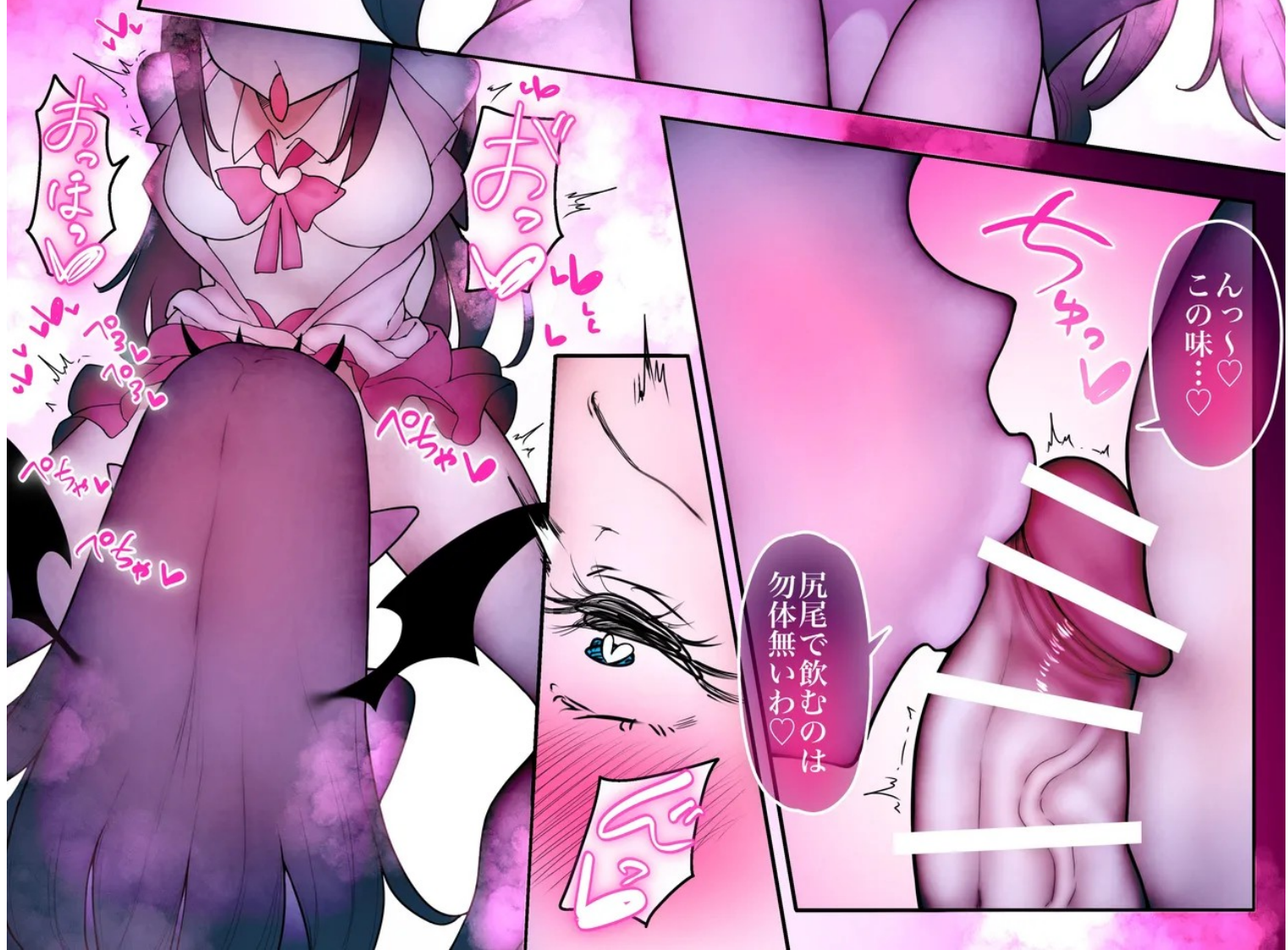
こんなにチュウ
してるのに…♡

アリザが宿す
聖なる力が
強すぎるのかしら…♡

……まあいいわ
それよりもお…♡

この精子の味…♡

当たりね…♡



んっ♡
この味…♡

尻尾で飲むのは
勿体無いわ♡

ああ…♡
なんて美味しい
精子なの…♡
私達サキュバスは
人間の精子を栄養に
するけど…

あなたの桁違いに
美味しいし…

栄養価もとっても
高いわあ…♡

あら…♡

ふふっ♡ヨダレ
垂らしちゃって…♡

よっぽど気持ち
良かったのね♡

でも…淫紋で身体の
自由は奪えたけど…
私の力を以てしても
心だけは奪う事が
出来ないなんてね…

普通だったら今頃
従順な奴隷に
なってる所なのに…♡

…その辺だけは流石は
天才魔法少女アリザと
言ったところかしら…♡

ふふ…♡まあ
身体だけでも充分
だけどね♡



はあ…♡それにしても
危ない所だったわ♡
あなたが隙を見せて
くれなかったら…
今頃私は負けていた…♡

ふふ…♡
何に気を取られて
いたのかしら…♡

私が特別何かした
覚えはないけど…

…あ♡
わかった♡



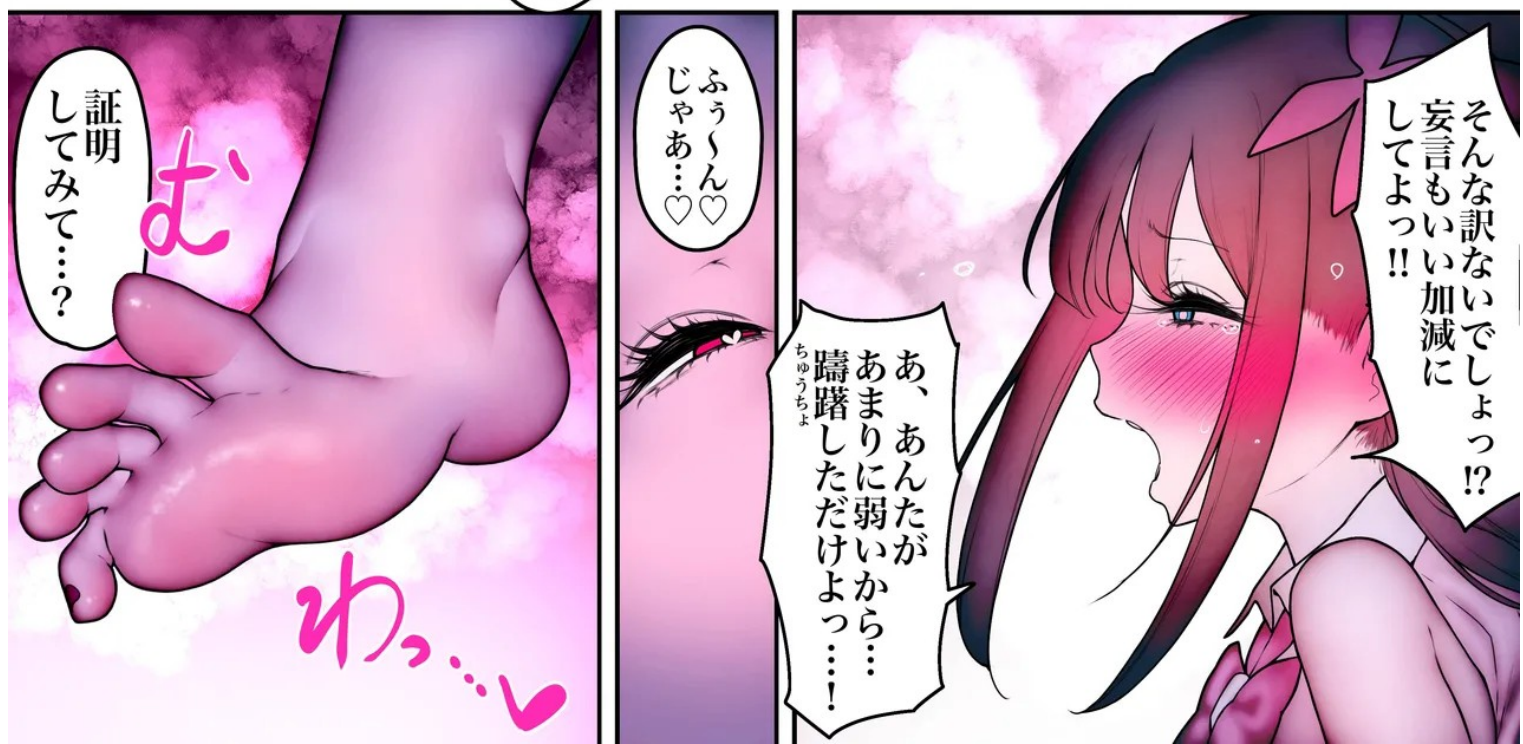
君さあ…♡
私の足の臭いで
興奮したんでしょ♡

もつと言えは…♡
聖なる力を持つ
魔法少女なら

つまり君は…♡
単純に女の子の足に
興奮する…

キスはともかく…
淫魔のフェロモン程度なら
効かない筈よね…♡

そ、



そんな訳ないでしょっ!!
妄言もいい加減に
してよっ!!

あ、あんたが
あまりに弱いから…
躊躇しただけよっ…!!
ちゅうちょ

ふうりん♡
じゃあ…♡

証明
してみて…?

む

わっ…♡

ほら♡どう…？
とっても蒸れて
良い臭いでしょ♡

もわぁ…♡

はんっ…♡
はぁ…♡

こ、こんなの…
臭いだけよっ…

ふふ…♡

意地張っちゃって…♡
その強気がいつまで
続くかしらね…♡

あ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

す、すごい
白…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

ふんっ…♡

甘くて酸っぱい
足の白…♡

ほら♡我慢して♡
興奮しちゃダメだよ♡

変態じゃ
ないんでしょ？

あらあ？どう見ても
勃ってきてるけど…？

はい変態
確定♡

ふふっ♡足の臭いで
おち○ぽギンギンに
しちゃってえ♡

私の蒸れ足と
セックスでもする？
うふふ♡

くっ…♡
もうダメっ…♡

もうダメえ…♡

१, ...

وایلی

وہاں

へたあ...♡

私には絶対に
逆らえない身体に
してあげる：♡

倭く蒸れて

臭いのに興奮して

ため♡だめ♡だめ♡

負けちゃううう

やだ



足の臭い嗅がされながら
敗北射精気持ちいいね
良かったでちゅねえ♡♡

情け無い顔：♡才能溢れる
魔法少女様はマゾの才能も
あったみたいねえ♡♡

ふふ♡その才能…♡
私がたっぷりと磨いて
あげるわ…♡

立派なマゾメスに
仕上げてあげる♡







ふふ♡
アリザのおち○ぽに
私が最初に匂い
付けちゃったあ…♡

もう一生
取れないからね♡

淫魔は鼻がいいから…
同族だったらすぐに
私と交尾したって
分かっちゃうよ♡

君のおち○ぽは
もう…



私のものっ…♡



あははっ♡
痙攣してる♡
可愛い♡

淫魔と交尾したなんて
人に知られたら…
もう魔法少女として
やっていけないね♡

ふふ…♡
まだ終わらないよ♡
もうっ私と私のフェロモン
染み付けてえ…♡

いっぱい
マーキングして
あげるわ♡

ほら♡足で
おち○ぼ揉み揉み
してあげる♡

ふふ♡足臭いから
匂い移っちゃうと
思うけど…♡

女の子の足で興奮する
ド変態のおち○ぼなんて
いくら臭くなっても
問題ないよね♡

あら♡随分と
気持ちよさそうだけど…

まさか…正義の味方が
敵のくさあつい足で
おち○ぼ揉みほぐされて…♡

気持ち良く射精なんか…
する訳ないわよねえ？

やん♡
やめ…♡

ぐい…♡

そわあ…♡

ぐにゅ…♡

ぐにゅ…♡

ぐにゅ…♡

ぐにゅ…♡

ぐにゅ…♡

ぐにゅ…♡

むわあ…♡

ぐにゅ…♡

むにゅ…♡

ぐにゅ…♡

ふふ♡
もう限界でしょ♡
ほら♡さっさと
私の温かい足の中で
果てなさい…♡

ぎゅっ…♡

ぎゅっ…♡

びゅん

どろろっ♡

びゅん♡
びゅん♡

びゅん♡
びゅん♡
びゅん♡



わあ♡お潮
吹いちゃったあ♡

快感が限界を超えて…
とうとう決壊しちゃった
みたいね♡

あらあら…♡
あたり一面あなたの潮で
びしょびしょよ♡

ふふ♡さっきまで
強気だったくせに…

汚い喘ぎ声出しながら
お漏らしまで
してくれるなんて♡

ああ…♡ますます
気に入ったわ…♡

おはよう
おはよう
おはよう

おはよう
おはよう
おはよう

びしょ
びしょ
びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

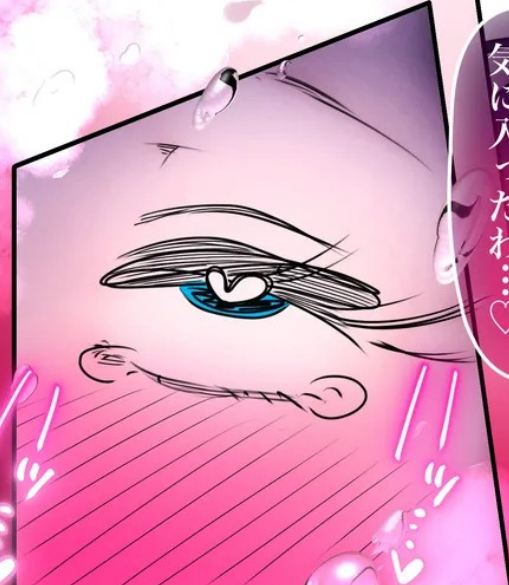
びしょ
びしょ
びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

ハッ…♡
ハッ…♡
ハッ…♡

ハッ…♡
ハッ…♡
ハッ…♡

ハッ…♡
ハッ…♡
ハッ…♡



ふふ…♡
あなたに見つかった時は
正直もうダメかと思っただけ…

こんな素敵な弱点を
持つててありがとうね♡
おバカさん♡あははっ♡

さてと…
人目につかないとは言え…
ここもそろそろ誰か
来るかもしれないし…

アリザ…♡
あなたを私の巣に連れて
行ってあげる♡

たくさん騎けて…
私の従順な下僕に
してあげるわあ…♡



その後…

…あれからしばらく経って…
少し落ち着いたけど…

いまだに身体が自由に
動かせない…

まさか…本当に
ずっとこのまま…?

身体の様子もおかしい…
全身が火照って
落ち着かない…

それに昨日からずっと
お風呂入れてないから…
少し匂いもするし…

眠らされてる間に
おっぱいもこんなに
大きく…

さ、最悪…

さてと…♡準備は
こんなものかしら…

がな…



あら♡
やっと起きたのね…♡

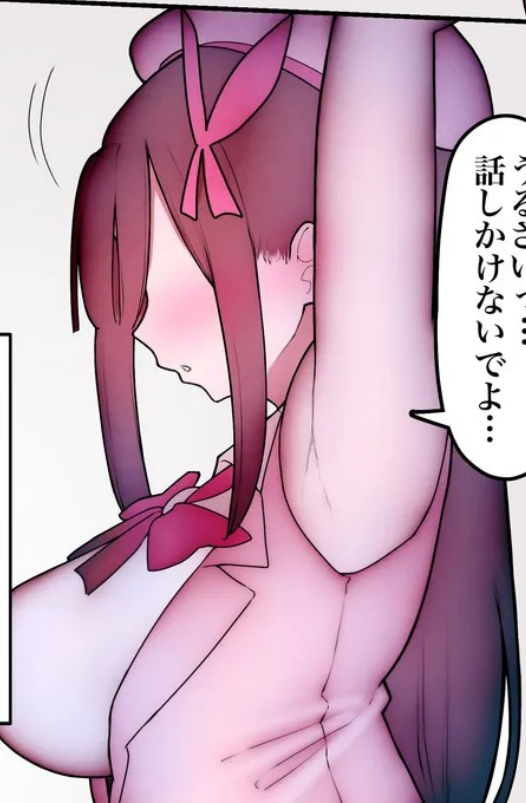
ギィ…

さっきは楽しかったわね♡
うふふ…♡

うるさいっ…
話しかけないでよ…

とにかく…いずれ助けは
来る…はず…

もうあんな醜態は
晒さないわっ…





あらあ…♡
反抗期かしらあ…♡

くす…

この前あんなに情けなく
アヘアへしてたのに…♡
ふふ…♡それに…

私で童貞
捨てたくせに…♡

ドキッ
ドキッ
ドキッ



ふふ♡思い
出しちゃった？

可愛い…♡

んあっ

ちゅっ



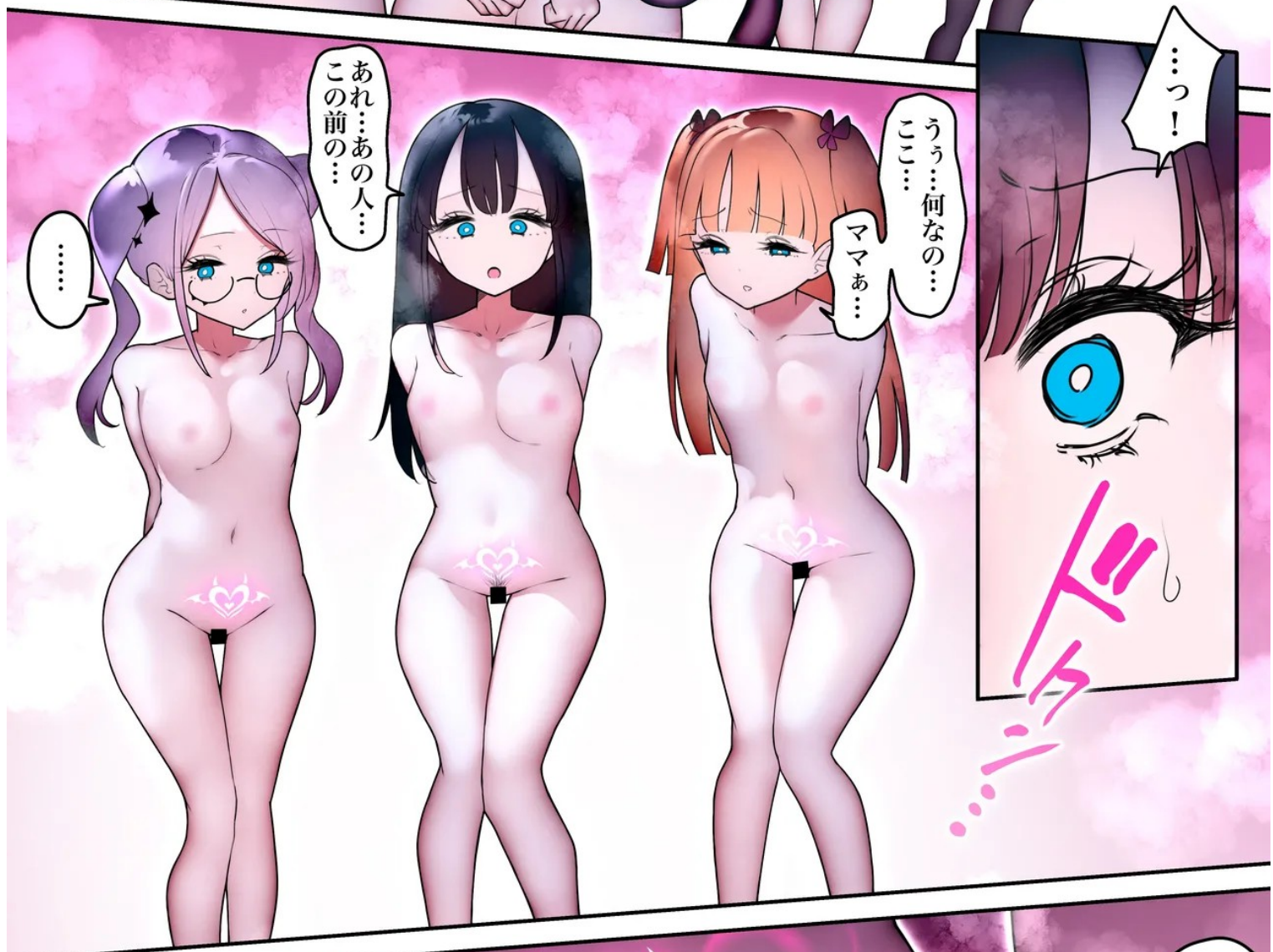
アリザ…♡
今日はあなたの為に
素敵なものを
用意して来たの♡

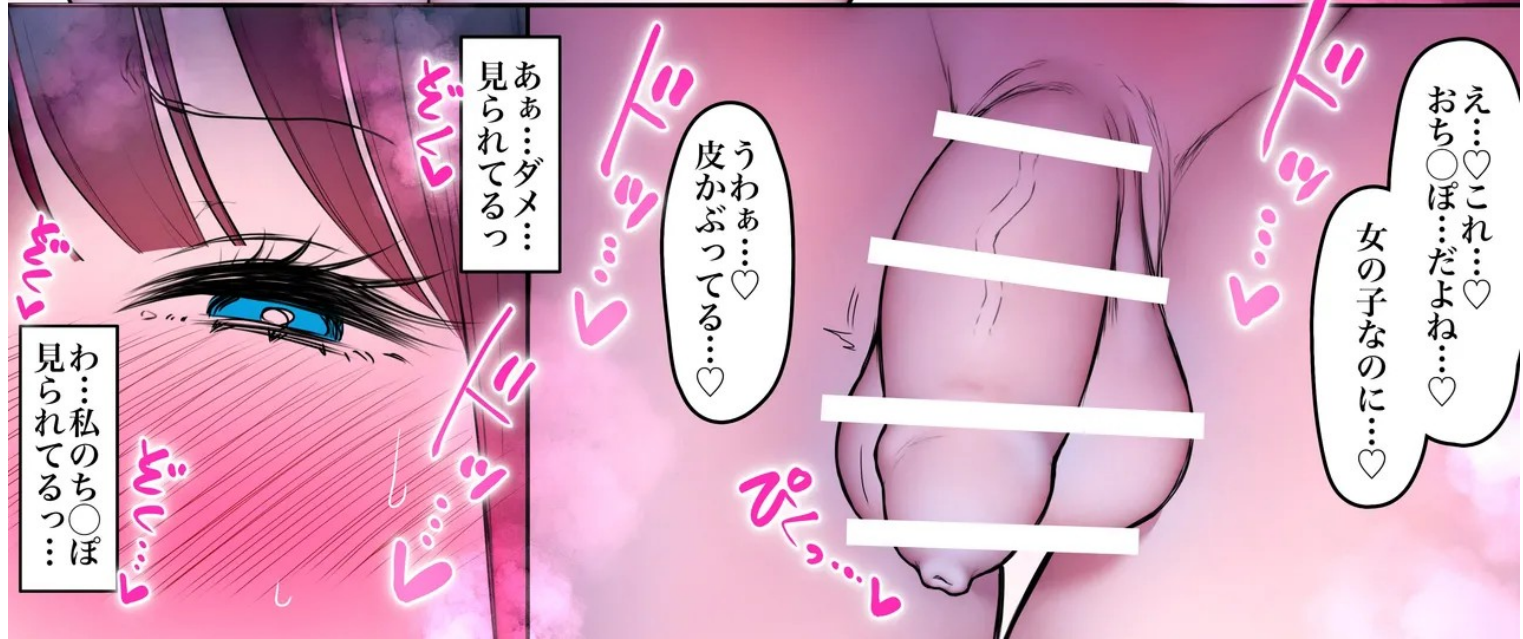
魔法少女のあなたにも
人間を墮落させる楽しさを
分かって貰おうと思ってね…♡

それじゃあ
呼ぶわね…♡

人間を…!?
ま、まさか…

ドキッ
ドキッ
ドキッ





ほら♡君のおち○ぼ
子供達にもちゃんと
見せてあげて♡

ほらみんな♡これが
魔法少女の聖なる
おち○ぼよ♡

かあ……♡
くっ……
こいつ……!

み、みんなっ……
見ないで……
お願いだから……

見ちゃダメっ……

ああ……やだっ……
反応しちゃう……

むく……♡

むく……♡

むく……♡

あれ……♡

何……この
気持ち……♡

……♡

うわ……♡
びくびく
脈打ってる……♡

あ……♡どんどん
大きく……♡

う……ウソっ……
私……欲情して……

うう……見ないでっ
本当にっ……
お願いだからあつ……!

むく……♡

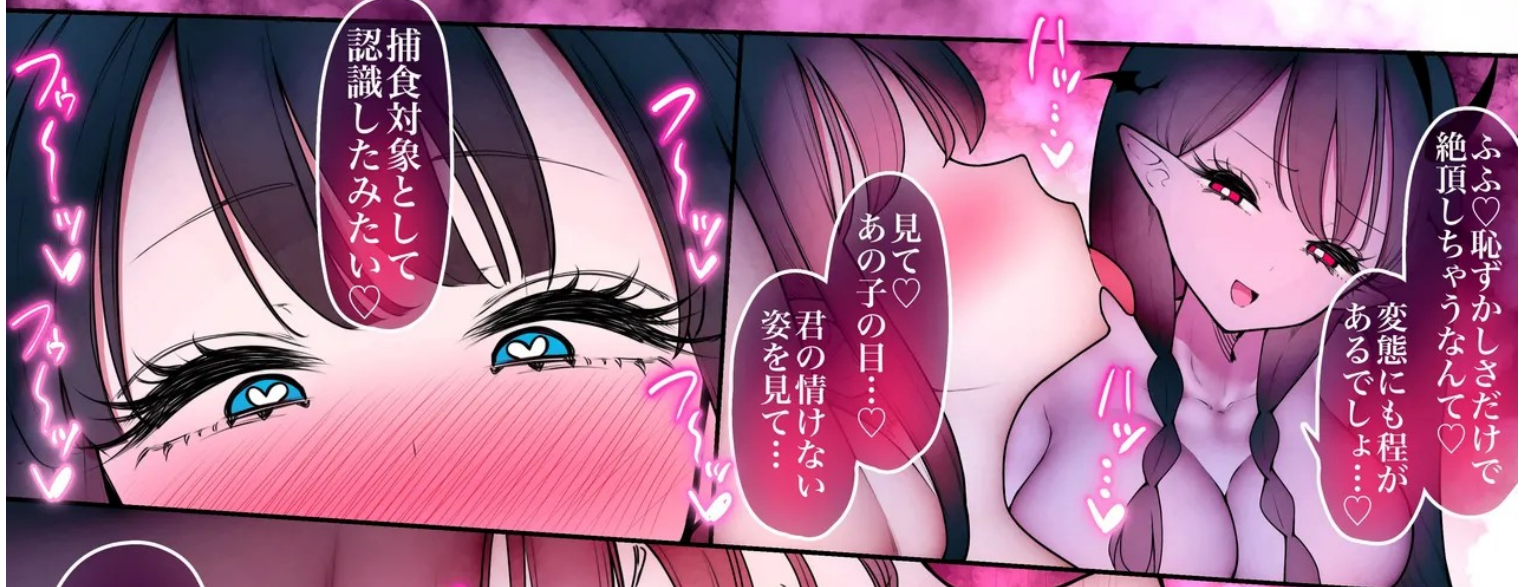
く……♡

むく……♡





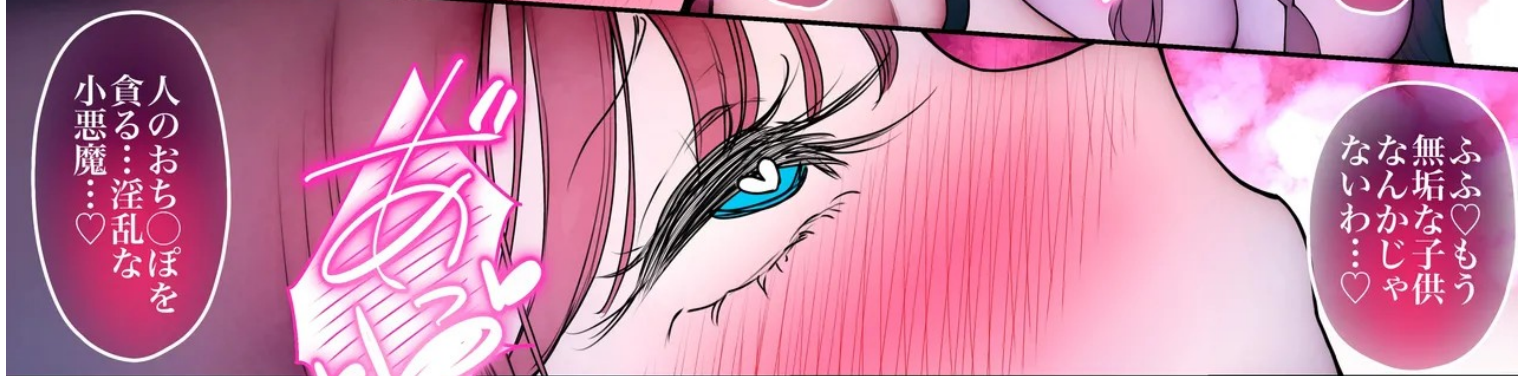




捕食対象として
認識したみたい♡

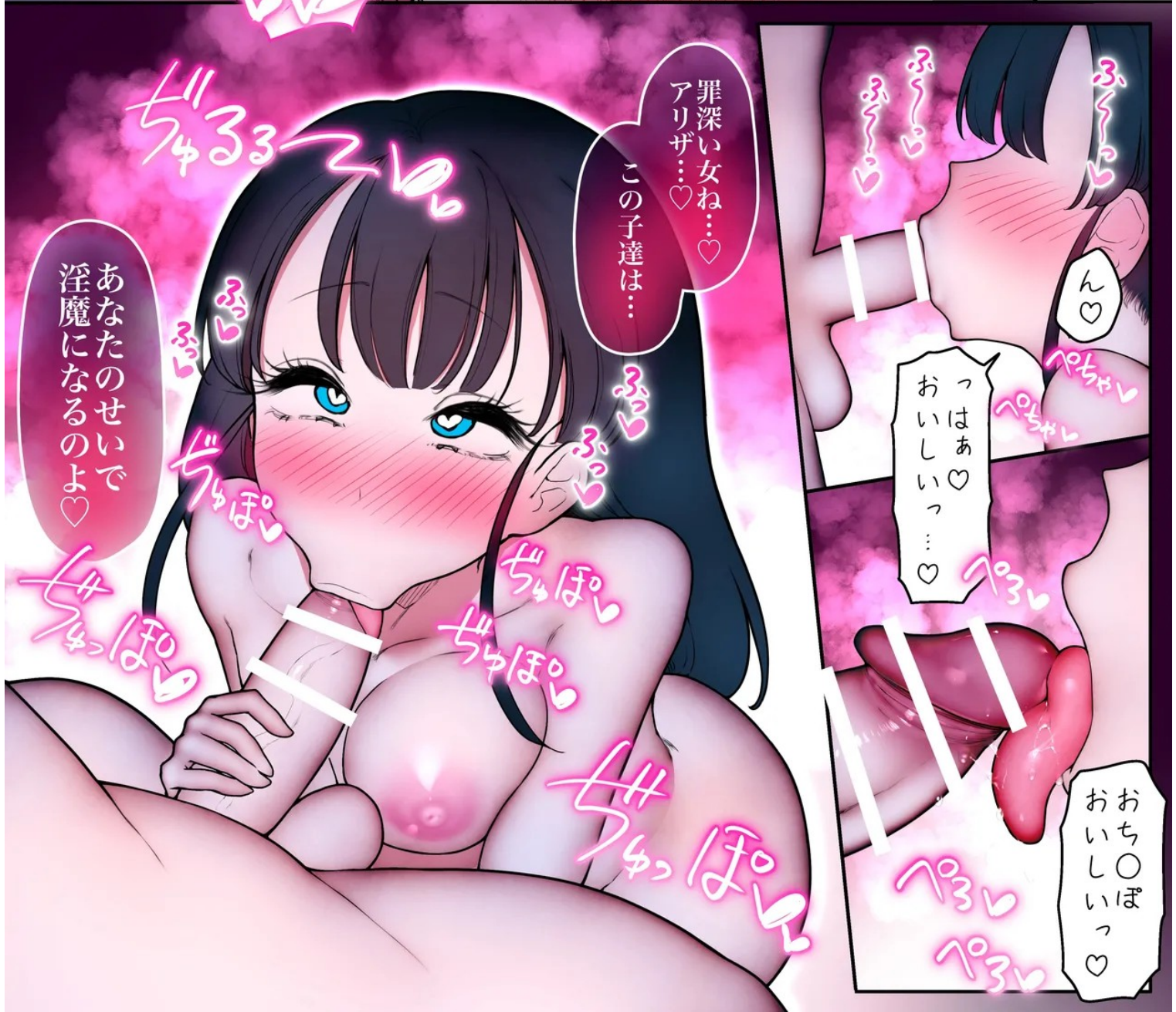
見て♡
あの子の目…♡
君の情けない
姿を見て…

ふふ♡恥ずかしさだけで
絶頂しちゃうなんて♡
変態にも程が
あるでしょ…♡



人のおち○ぽを
貪る…淫乱な
小悪魔…♡

ふふ♡もう
無垢な子供
なんかじゃ
ないわ…♡



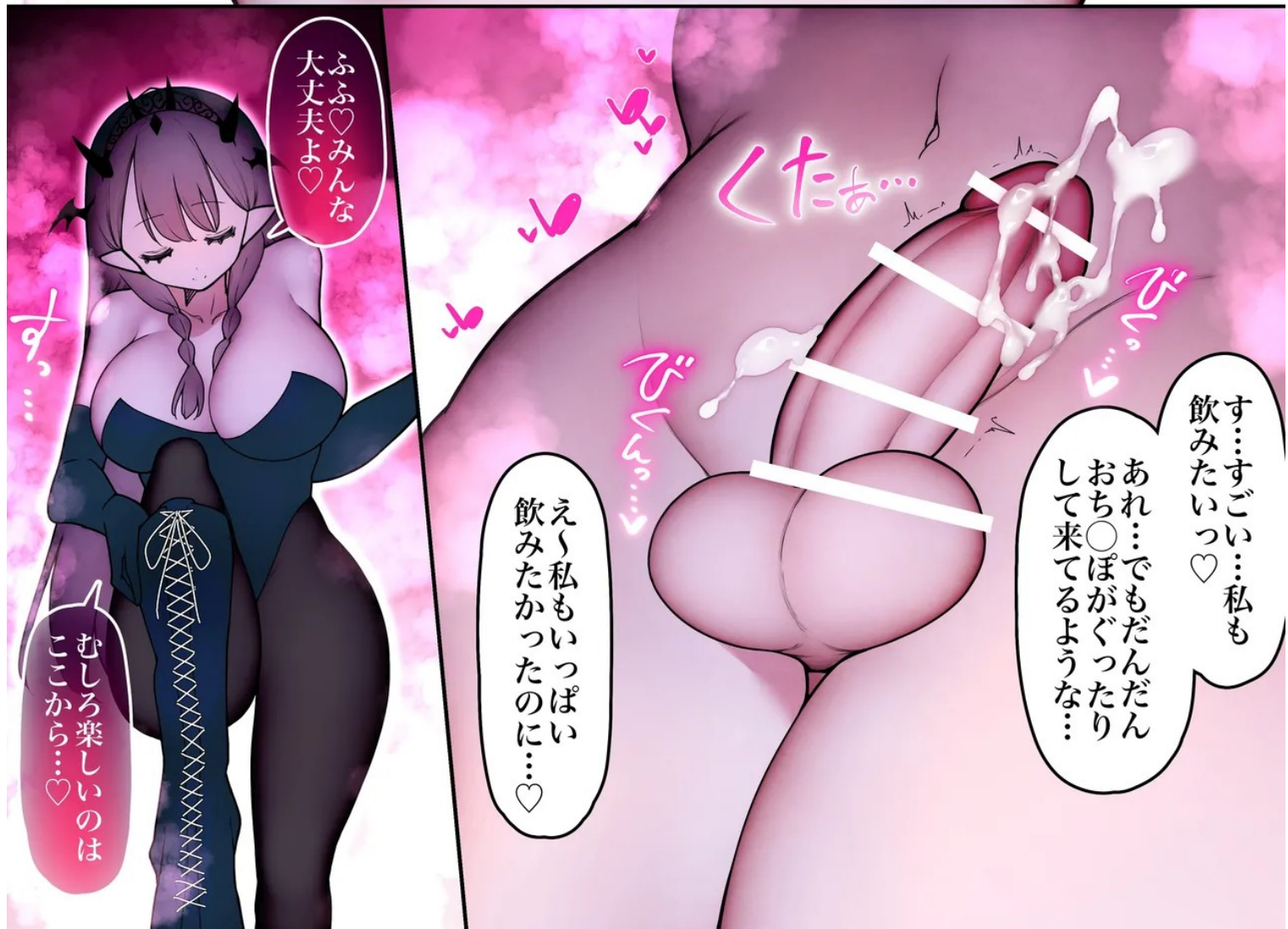
罪深い女ね…♡
アリザ…♡

この子達は…

あなたのせいで
淫魔になるのよ♡

っはあ♡
おいしいっ…♡

おち○ぽ
おいしいっ♡



この変態女の
すごい所はね…♡

女の子の蒸れた足で
いじめられると…喜んで
精子作っちゃうとこなの♡

ほら…アリザ♡見なさい…♡
あなたの為にブーツ履いて
蒸らして…熟成させてたのよ♡

あなたの好物の
蒸れてくっさあい
汗びっしょりの足裏…♡

ぬ
け…♡

も
ち…♡

む

わぁ…♡

むわあ...♡

また♡この
白い♡♡♡

あ♡



気持ちいいの
思い出しちゃう♡♡

勝手に身体が♡♡♡

だめなの♡♡♡

だめ♡♡

あ♡♡



身体が♡♡

支配されるの
求めて♡♡♡

あ♡♡

今イッた
ばかりなの♡♡

あ♡だめ♡
きもちいい♡♡♡

ふふ♡また
負けちゃったあ♡

自分の身体見られて
興奮しちゃった上に…
足の臭いで発情して
変態マゾ射精
キメちゃうなんて♡

ほら♡目の前の女の子に
あんたのくっさい精液
かかっているよ♡

救うべき市民を自分の精液で
溺れさせる気かしら？♡

…って
射精の快感に集中してて
それどころじゃないかあ♡
うふふっ♡



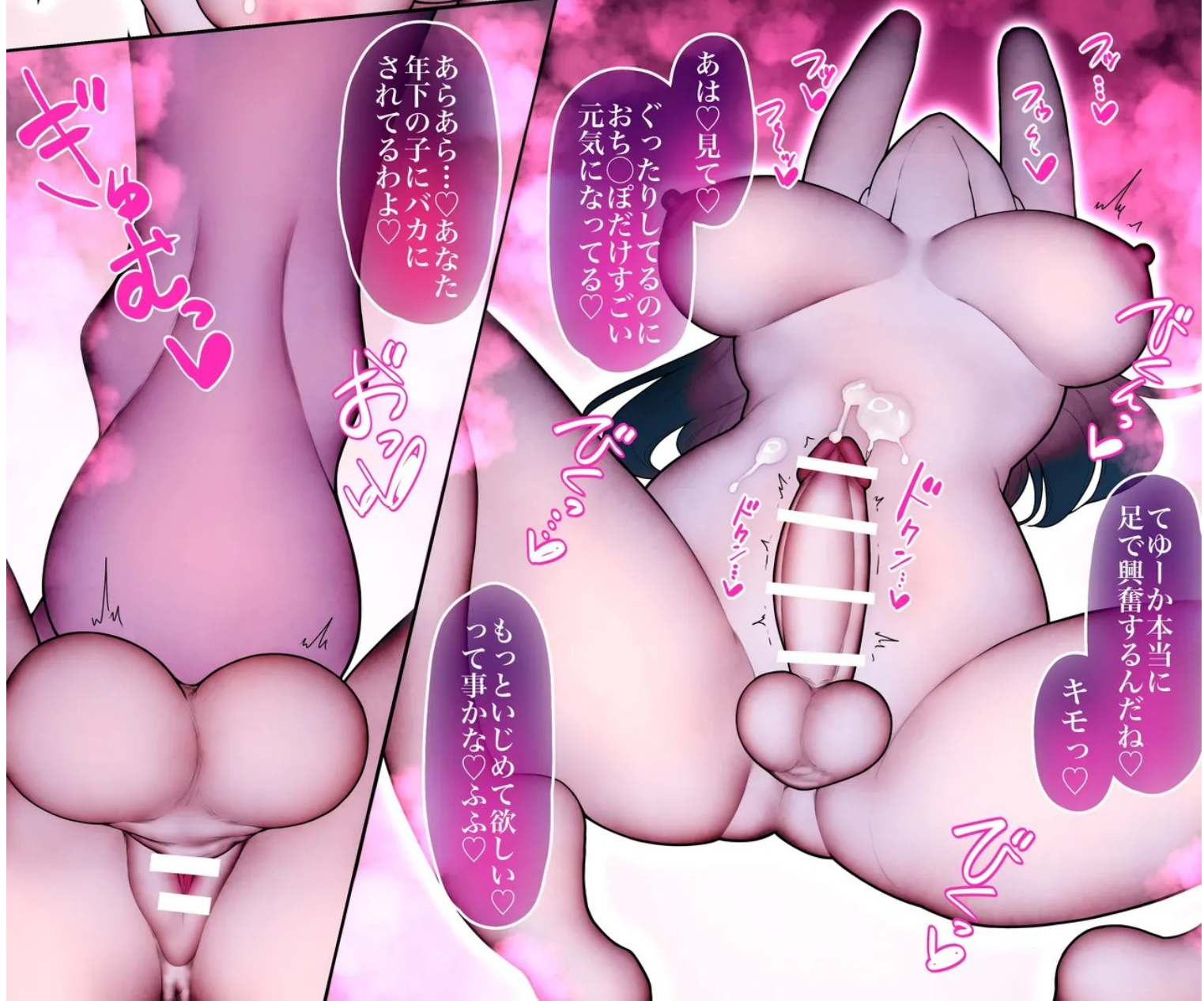


えへへ…♡
気持ちいい…♡

わあ♡美味しい♡
信じられない…♡

甘くて…♡
練乳みたいな味…♡

ふふ♡本当…♡
味覚も変わって
いくんだ…♡



あは♡見て♡
ぐったりしてるのに
おち○ぽだけすごい
元気になってる♡

あらあら…♡あなた
年下の子にバカに
されてるわよ♡

てゆーか本当に
足で興奮するんだね♡
キモっ♡

もっといじめて欲しい♡
って事かな♡ふふ♡

ズルズル♡

おっ♡

でっ♡

びっ♡

うふふ♡みんな
分かったかしら♡

これが…魔法少女
アリザの本性よ…♡

蒸れた足の臭いが
大好きで…♡

恥ずかしい自分の姿を
見られて興奮しちゃう…♡

なっさけな～い
変態女…♡

あ♡待て♡
足♡で♡けて♡♡

ん♡
ん♡ち♡う♡ん♡♡

ん♡
ん♡♡

ん♡
ん♡♡



ふふっ♡ああ、
それと…

このマゾ女の精子は
栄養満点だから…

飲めば飲むほど
淫魔としての力が
強くなっていくわ♡

とっても優秀な
サキュバスへと
生まれ変わるはずよ♡



こうやっておち○ぽ
いじめてあげれば…

アリザは気持ち良く
マゾ体質になれるし…

逆に君たちはどんどん
強い淫魔になっていく…♡

ふふ♡
一石二鳥ね♡

このまま何度も何度も…♡
マゾイキの快楽に脳みそ
矯正されて…♡

立派なマゾメスに
生まれ変わらなさい♡

ふふ♡それじゃあ…♡
私のかわいい下僕達…♡

この女を…

快樂地獄に
墮としてあげて…♡



あんっ♡

ふふ♡おねーさんが
こんな変態だった
なんて♡

あは♡もう
いつちやった♡

んっ♡やめて…♡
動かさないでえ…♡

ほら♡♡
ぐりぐり♡

だめ♡えっ♡♡♡♡
ぐりぐり♡
だめ♡えっ♡♡♡♡

あ♡あ♡だめ♡♡♡♡
やめて♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

子供の足に
負けるなんて♡

雑魚ち○ぽ
なっさけなく♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

こんなふうに踏まれて……
悔しいとか思わないの？♡
本当情けないね♡

ほら♡変態♡
もつと嗅ぎなさいっ♡

踏まれて悦ぶ
マゾ豚♡

あは♡出たあ♡
足の裏でおち○ぽ
びくびく動いてる♡

楽しく
なつて来た♡

ねえこれ
私飲んでいい？♡

うん♡いいよ♡
順番に飲もうね♡



ん...♡ほら...♡
おち○ぽにローション
かけて...あげる...♡



んっ♡
いっくう...♡

ふふ♡
ありがとう♡
黒髪ちゃん♡



トロ...

ああ♡熱くて
ヌルヌル...♡

あっ♡
は♡
い♡
れ♡
っ♡



淫魔のマンコ汁
ローション...♡
も、もっとう♡
気持ち良くっ♡

トロ...

あ...
ん...
ん...

ほら♡イケ
雑魚ち○ぽ
いっちやえ♡

ふふ♡どんどん早く
射精出来るように
なってるね♡

お...
お...
お...

ベト...

びん...

び...

あは♡
もう次のおかわり
射精しちゃった♡

ウチの身体も心も
どんだん淫魔に
なっていくし…♡
マジ最高♡

ほらあ♡
足コキの気持ち良さに
どっぶり浸かって
バカになっちゃおうね♡

どーせ助けなんて
来ないんだからさあ♡

さっさと堕ちて
ウチのペットになろ♡

どろろ
びしょ

どろろ
びしょ

ぎゅっ

ぎゅっ

あゝ

あゝ

ほら♡イけよ
マゾ犬♡

ふふ…♡何その
気持ち良さそうな顔…♡
本当きもいねお前…♡

自分のおち○ぽ
こんなふうに使われて…♡
どぴゅどぴゅ射精して…♡

まあ…でも一応
少しは感謝しないとね…♡
だって…♡

お前のおかげで淫魔になれて…
つまらない人間の生活から
解放されるんだから…♡

ありがとうね♡
バカ♡あはは♡





おわあ...

ほらっ...♡
嗅げよ♡
変態...♡

ほら♡精子作れ♡
マゾ犬♡

うふふ♡可愛い...♡
いっぱい嗅いでえ...♡
ダーリン♡



わあ♡すごい量♡
何度も射精してるのに♡

あは♡本当に
足の匂いで精子
作っちゃうんだ♡

ほら...もつと
舌を絡めろ...♡
私の媚薬ヨダレをたっぷりと
飲ませてやる...♡

かんっ♡
うかっ♡
ごいて♡
いから♡
ちだがっ♡
やうっ♡
...♡
...♡

ん♡
やめ♡
あ♡
っ♡
♡
あ♡
あ♡
っ♡
...♡
♡

んふっ♡
まともな思考が出来なく
なって来ただろう...?

身体の感度を何十倍にも
高めているからな...♡

お前のようなクズには
考える能力なんて
必要ない...♡

私達...淫魔の養分に
成り果てるんだからな♡
ふふ...♡





ほらあ♡ウチのペットに
なっちゃったあ♡

あはは♡めっちゃ
呼吸早いじゃ♡

早漏すぎて常に精子
漏らしてるし♡

ウチのローファー
すっごいキまるっしょ♡
毎日吸わせてやっから♡

これからいっっぱい
舐けてあげる♡



ふふ♡いつまで
ヒーロー気分で
いるつもり…？

まだ自分の立場を
分かってない
ようだな…♡

お前が情けない
負け犬って事…

私の足の匂いで
分らせてやるよ♡

…いい匂いでしょ？
足の誘惑に勝てない
マゾ女♡

ほら♡もっと吸え♡
もっと…♡

お前の主人が
誰なのか…しっかり
脳に刻みつける♡

むわぁ…♡

ひゅん♡
ひゅん♡
ひゅん♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡

す♡
ほ♡
す♡
ほ♡

す♡
ほ♡
す♡
ほ♡

ふふっ…♡全身が
精液と汗に塗れて
すごい匂いだな…♡

本当♡すつごく
美味しそうな
いい匂い…♡

ああん♡ダーリン
とっても美味しそう…♡
みんなで美味しく
食べてあげましょう♡

ふふ♡噛み跡
付けちゃった…♡







だいぶ私好みに
仕上がつて来たわね♡
アリザ…♡

ふふ…♡

おほ♡
おほ♡
おほ♡

おほ♡



下僕達も立派に成長して…♡
随分強い淫魔になって
くれたわね♡

あなた達は今日から
私の娘よ♡

たくさん人間を
襲わせてあげるわ…♡

そのマゾ女の精子も
美味しいけど…
栄養が偏っちゃうと
いけないからね♡



ふふ♡正気を保つのも
もう限界そうね…♡

あゝあ♡

敵である私に恥ずかしい
負け方した上に…

私達を相手に勃起も
我慢できず…

何の罪も無い子達を
発情させて淫魔に変えて…♡

あなたのせいで…これから
多くの人達が犠牲に
なるでしょうね…♡

不甲斐なさと
罪悪感で…

うね…

うね…

胸がいつぱいな
筈よねえ…?♡
だから…

す…

こういうのは
どう…?

じゃーん♡
正義のヒロイン参上♡
ふふ♡どう?
似合ってるでしょ♡

邪悪な精子びゆるびゆる
撒き散らして…

無垢な子供達を淫魔に変えた
わるい変態女はあ…♡



私のっ♡

正義のっ♡♡♡
おマ○コでっ♡♡♡

たっぷりっ♡♡♡♡♡

懲らしめて
あげるわあ♡♡♡♡♡



あ♡ああ♡
きもちいい♡

えへへ♡
しあわせ♡

はい♡はい♡
みとめましゅ♡

あしでっ♡
だいじめられるのが
へんたいおんな
です♡

な、なりますっ♡
奴隷になりますっ♡

だから…♡

だからっ…♡

ふふっ♡やっとな
素直になったわね♡
自分が変態マゾ女って
認めるの??♡

うふふっ♡いい子ね♡
アリザっ♡私の奴隷に
なりなさい♡

永遠に私に精子を貢ぐ
奴隷になるのよっ♡

もっとおしおき
してください♡



契約…

成立ね…♡

♡♡♡…♡

その後…

さてと…じゃあ
私達は出かけて
来るから…

お留守番お願いね♡
アリザ…♡

いっぱい人間を
捕まえて来てあげる♡

あなたに教えてもらった
あなたの家族も…魔法少女の
お仲間もね…♡ふふ…♡

はい♡ご主人様♡
行つてらっしゃいませ♡

アリザはここで…
精子たくさん作りながら
帰りを待っております♡

だ…だから…
その…♡

ふふ♡ええ
わかつてるわ♡

帰ってきたら…♡
いっっぱいご褒美を
あげるから…♡

楽しみにしていてね♡
うふふ♡

ああ…♡嬉しい♡
ありがとうございます♡
ご主人様♡

おしまい♡

むわあ…♡♡

